

苫小牧市消費者被害防止

ネットワークニュース No.17

発行/苫小牧市消費者被害防止ネットワーク事務局（苫小牧市市民生活部市民生活課 Tel.32-6306）

【STOP 詐欺被害】

預貯金詐欺やキャッシュカード詐欺盗が急増！

北海道警察から発表された4月末現在の「特殊詐欺の認知件数・被害額状況」では、認知件数が57件で、前年同期に比べ約1.5倍、被害金額は約1億2,750万円で、同じく約1.8倍に増加しています。その中でも預貯金詐欺・キャッシュカード詐欺盗の被害件数が全体の66.7%、被害金額が76.9%と大半を占めていることがわかりました。

また、残念ながら苫小牧管内でも預貯金詐欺・キャッシュカード詐欺の被害が3件発生しています。

では、預貯金詐欺・キャッシュカード詐欺盗とはどのような詐欺でしょうか。

【預貯金詐欺】

- 警察官や金融庁職員を装って、「あなたの口座が犯罪等に利用されており、キャッシュカードの交換手続きが必要である」などの名目で、キャッシュカード、預金通帳等をだまし取る手口

【キャッシュカード詐欺盗】

- 警察官や銀行協会等を装って、「キャッシュカードが不正に利用されている」などの名目により自宅を訪れ、キャッシュカード等を準備させ封筒に入れる保管を勧め、印鑑を取りに行くなどした際に、キャッシュカード等の入った封筒をすり替えるなどして窃取する手口

北海道立消費者センターが作成した、具体的な手口がわかりやすく書かれているポスターを裏面に掲載しています。他人事とは思わずに充分注意するようにしてください。

（参考：北海道警察本部・苫小牧警察署）

令和元年度の相談傾向

〈苫小牧市消費者センター〉

○ 相談の受付状況

令和元年度の相談総数は、1,390件で前年度の1,550件と比較して160件減少しました。全体的な相談件数は減少していますが、依然としてはがき等による架空請求の相談が多く、身に覚えのない架空請求や不当請求で連絡をさせようとするケースが目立ちました。

また、今年度は宅配便業者を騙るSMS（ショート・メッセージ・サービス）の相談や、アナログ回線から光回線に移行させる勧誘電話が増加しました。

○ 相談者の年齢層

年代別の相談状況を見ると、70歳以上の相談件数が最も多く、次いで60歳代、50歳代、40歳代と続いています。また、前年度と比較すると、10代の相談件数が大幅に増加しています。

○ 相談者の職業

職業別に見ると、給与生活者が全体の35.0%と最も多く、次いで無職が31.6%、家事従事者が21.7%となっています。

困ったときは、ひとりで悩まず「苫小牧市消費者センター」へご相談ください

- 悪質商法、欠陥商品など消費生活上のお悩みは ⇒ 電話 33-6510

- 借金整理、過払金請求など借金に関するお悩みは ⇒ 電話 32-6119

（多重債務相談専用）

苫小牧市若草町3丁目3番8号 苫小牧市民活動センター3階



新型コロナウイルス感染拡大に便乗した 悪質商法や特殊詐欺に注意してください

それ、**給付金手続き**を装った**詐欺** かもしれません！

**「個人情報」「通帳、キャッシュカード」
「暗証番号」の詐取にご注意ください！**

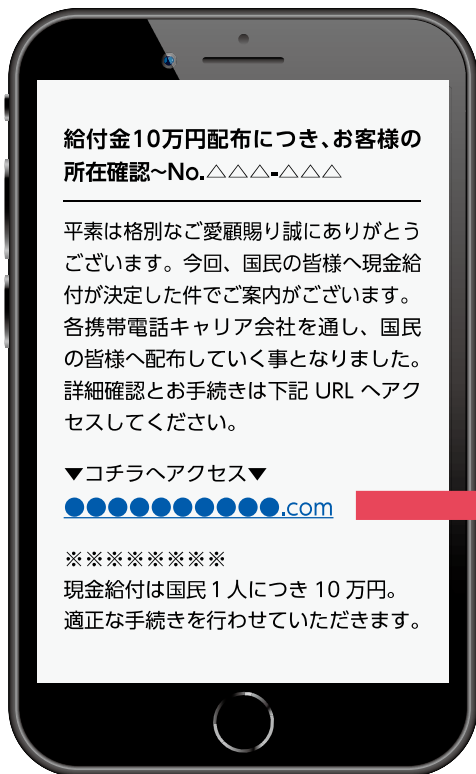


特別定額給付金に関して

- 市区町村や総務省などが**現金自動預払機(ATM)の操作**をお願いすることは、**絶対にありません。**
- 市区町村や総務省などが「特別定額給付金」の給付のために、**手数料の振り込みを求めることは、絶対にありません。**
- 市町村や総務省などが、**メールを送りURLをクリックして申請手続きを求めることは、絶対にありません。**



不審メールや不審電話に 注意してください！



『給付金10万円配布につき、お客様の所在確認』等と携帯電話会社を騙った**不審メールや電話**が全国で相次いでいます。

このようなメールは**詐欺**の疑いがあります。心当たりのない**メールは開かない**、不用意に**URLをクリックしない**、**全て無視しましょう！**

注意

誘導先では、**コンピューターウイルス感染・個人情報・銀行口座情報等の詐取**などの被害が想定されます！

不安な時は、迷わず相談を！

- **新型コロナウイルス給付金関連消費者ホットライン**
☎ **0120-213-188**
- **消費者ホットライン** ☎ **188**
- **警察相談電話** ☎ **#9110**